科学新聞
週刊
（金曜日発行）
発行所　科学新聞社
本　社（〒105-0013）
東京都港区浜松町1-2-13
電話 03-3434-3741
FAX 03-3434-3745
mail:edit@sci-news.co.jp
振替 00170-8-33592
購読料 1ヶ月 2,100円（消費税込）

動物実験規制強化の動き

動物愛護管理法見直しへ
実験動物も議論の対象に

日本国内の動物実験の規制が強化され、生命科学研究や製薬業などに大きな影響を与えるかもしれない。中央環境審議会（動物愛護管理法の動物愛護管理のあり方検討小委員会）は、動物愛護管理法の見直しについて議論しており、今月末には「実験動物」が取り上げられる。研究現場では、ガイドラインに基づいて3Rの原則（できるだけ実験動物に苦痛を与えない、低数な実験を行わない、代替法の導入）が度々いわれるように関心ちょうしゅ。今期法案審議の検討が進んでいる。

生命科学研究空洞化懸念

動物愛護管理法は昭和48年に制定され、生命科学研究や製薬業などに大きな影響を与えるかもしれない。中央環境審議会（動物愛護管理法の見直しについて議論しており、今月末には「実験動物」が取り上げられる。研究現場では、ガイドラインに基づいて3Rの原則（できるだけ実験動物に苦痛を与えない、低数な実験を行わない、代替法の導入）が度々いわれるように関心ちょうしゅ。今期法案審議の検討が進んでいる。

動物愛護管理法は昭和48年に制定され、生命科学研究や製薬業などに大きな影響を与えるかもしれない。中央環境審議